



久喜地区

連絡先 コーラスグループ♪ゆう♪  
代表 渡辺 京子  
☎ 090-4670-8085

歌っているとき時間を忘れてしまいます。歌うことは本当に楽しいです。今は一月の市民芸術祭に向けて中島美嘉さんの『雪の華』を練習しています。各パートの音取りが済み、次第にハーモニーが響いてきました。とても気持ちがいいです。日本の懐かしい歌、最近流行っている歌、ジャンルを問わずいろいろな曲を歌っています。本当に素敵な曲がたくさんあって、いい楽譜を見つけた時はとても幸せな気分になります。活動は不定期ですが、ほぼ月二回のペースで、市内の公民館を利用して練習しています。市民芸術祭や公民館まつりに参加したり、鶴寿荘さんや久喜の里さんからお声をかけていただいて、慰問に伺ったりしています。歌の好きな方・・・私たちと一緒に歌いませんか？ご連絡をお待ちしています。



菖蒲地区

連絡先 久喜市・ローズバーク協会  
会長 新井 英之  
☎ 0480-85-1859(事務局 新井)

当協会は、アメリカ合衆国オレゴン州ローズバーク市と友情と理解を大切に友好親善交流を行っています。昭和62年に中学生の親善交流が始まり、その後、平成5年に旧菖蒲町として成人交流が始まりました。合併後、平成27年8月2日に改めてローズバーク市と久喜市との姉妹都市提携がなされ、友好親善交流が続けられています。現在の会員数は160名です。訪問団の派遣や受入れを行い、ホームステイ、歓迎会、市内見学、県外旅行、文化体験等の諸行事を通じて、市民との交流を図っています。国際交流事業に興味のある方、ご自身のスキルアップを図りたい方など入会をお待ちしております。



久喜市生涯学習だより

平成 29 年 1 月 1 日 発行

第 13 号

編集：久喜市生涯学習推進部  
発行：久喜市教育委員会

まなびすと久喜

年々高齢化の進む中で、生活に対する価値観も、「もの」の豊かさから「こころ」の豊かさへと転換しつつあります。この様な流れのなかで、文化に対する関心も高まり、活動も活発化してきております。文化芸術活動は、私達ひとりひとりが自己を表現する上で大変有意義なものであるばかりでなく、人と人との心の繋がりを思いやりで、お互いに理解を深め合うなど、私達の心に安らぎと潤いをもたらすものであり、また地域社会の安定に大きく寄与するものでもあると確信いたします。さて、久喜文化団体連合会も発足以来40周年を迎えますが、現在各分野にわたり20団体が2000名余の会員数をもって活動しております。また久喜市には、高齢者大学、市民大学があり、大勢の方々が多くのサークルの中で芸術文化活動をされています。久喜文化団体連合会としましては、そのような皆様の参加も、お待ちしております。まず、まこと、久喜市は、他市



久喜市久喜文化団体連合会

会長 齋藤 馨

文化活動に若い力を

に勝るとも劣らぬ文化活動の盛んな市であると思うのです。ところで、前述の高齢化の波は、どこの街の文化団体にも押し寄せて来ております。そこでこれからは、どうしたら若い人々の参加を増やせるか考えなければなりません。一方若い方達の立場に立つてみると、この忙しい時代に本業を離れた何かに力を注ぐ余裕など無い、と考えられるかも知れませんが、決してそうでは無いと思えます。出来るだけ早く打ち込める何かを見つけ、準備しておくことが充実した人生を送る上で大事な事と考えます。高齢者も、若い者も、楽しく集い、心を合わせて、久喜市の文化を大事に育てていきたいものと心から願うものです。



齋藤馨作「風のみえる街」久喜駅西口広場

久喜市生涯学習施設紹介

- ★所在地 久喜市鷺宮6-4-1
- ★電話 0480(59)2288
- ★アクセス 東武伊勢崎線鷺宮駅東口から徒歩20分
- ★休館日 第2水曜日、年末年始
- ★利用時間 9:00~21:00
- ★施設概要 大プール(25m×17m、8コース) 幼児用プール(12m×5m) 採暖室 ラウンドフィットネス



鷺宮温水プール

鷺宮地区

当プールは25mプールの他に幼児用プールを備え、小さなお子様から高齢の方まで年間を通じて水に親しんでいただける施設です。プール施設は、日光を取り入れやすい構造となっており、明るく開放的に水泳を楽しんでいただくことができます。また、館内では様々な水泳教室のほか、ラウンドフィットネスなども行っております。



市指定文化財「吉田家水塚」

栗橋地区

- ★所在地 久喜市伊坂1557 (栗橋文化会館イリス敷地内)
- ★電話 0480(85)1111 (文化財保護課:内線372)
- ★アクセス JR宇都宮線・東武日光線栗橋駅東口から徒歩約20分
- ★開館日時 毎週木曜日、土曜日、日曜日の9:00~16:30 年末年始(12月28日~1月4日)は除く

水塚とは、水害から人や財を守るため、自宅敷地内の一部を盛土した塚や塚の上の建物を総称した避難施設のことをいいます。「吉田家水塚」は、商家の水塚としては市内で唯一現存する水塚であり、栗橋の旧宿場内にあったものを現在地へ移転したものです。蔵は2棟あり、入口から見ると手前の蔵を「大蔵」、奥の蔵を「向う蔵」といいます。

第7回 生涯学習推進大会 まなびすと久喜

平成29年2月4日(土)・5日(日)  
会場 久喜市中央公民館 全館・屋外

大会テーマ 「地域の絆と新たな出会い」



1日目 2月4日(土) 午後1時~4時  
開会式 まちづくりフォーラム：大集会室

- 1部 基調講演 講師：久喜コミュニティ推進協議会 会長 鈴木 弘道氏
- 2部 パネルディスカッション パネラー：車田 貞氏、幡谷 克氏 森田 さおり氏、山田 結菜氏 コーディネーター：平 忠昭氏

2日目 2月5日(日) 午前10時~午後3時30分  
まなびすと発表会・各イベント

〈フロアテーマ〉

1階	出会い♥ふれあい♥みんなの広場
2階	楽しく遊ぼう ものづくり
3階	レッツチャレンジ 楽しもう!!
4階	視野が広がる4階!
屋外	おいしいよ。「マイウ〜」

# 第2弾 「久喜ゆかりの偉人」にスポットを当てる!!

「久喜ゆかりの偉人」……あなたは、何人ご存知ですか？  
どのような人を思い浮かべますか？

第12号「久喜市生涯学習だより」で、久喜市ゆかりの偉人、『内藤正成、菊池菊城、中島撫山、中島敦、田口清平、井沢弥惣兵衛』の6人を紹介しました。第2弾として、本13号でも、6人の偉人を紹介します。久喜市の発展は、先人たちの知恵とたゆまぬ努力、多くの汗の結晶から形成されています。

「久喜ゆかりの偉人」は、この12人に限らずまだまだ多くの偉人が潜在しております。地域の偉人を知り、学ぶことは、久喜市の歴史をより深く理解し、更に久喜市への愛着が増してくることに違いありません。これからの未来も先人たちから受け継がれた伝統や歴史、文化が脈々と息づき、誰もが「久喜に住んでよかった」と実感できる街、夢と希望がもてる街、発展する久喜市であり続けることになるでしょう。

なお、「本多静六記念館」(常設)は、菖蒲総合支所5階にあります。

## 『文学とギターを愛した』

深沢 七郎 (ふかざわしちろう)



### 主な経歴

- ☆1914～1987 (73歳没)  
山梨県で生まれる。
- ☆中学のころからギターに熱中し、ギタリストとなる。
- ☆1956年『楡山節考』で中央公論新人賞受賞するなど多数の著書がある。
- ☆1960年末発表した『風流夢譚』で嶋中事件が起き、そのため筆を折って3年間各地を放浪。
- ☆1965年菖蒲町に落ち着き、上大崎の見沼代用水近くに「ラブミー農場」を開き住み着いた。晩年のラブミー農場には嵐山光三郎や赤瀬川原平らを招いた。
- ☆ギタリストとしてプレスリーの大ファンでもあった。

### 主な業績

- \*1956年姥捨山をテーマにした『楡山節考』を中央公論社新人賞に応募、第1回受賞作となりベストセラーになる。
- \*戦国時代の農民を描いた『笛吹川』も評判になる。
- \*1981年『みちのくの人形たち』で谷崎潤一郎賞を受賞する。

菖蒲地区

久喜地区

鷺宮地区

栗橋地区

『久喜代官として、治水・教育に成果を挙げた』

早川 正紀 (はやかわまさとし)



### 主な経歴

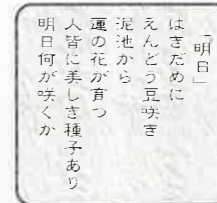
- ☆1739～1808 (69歳没)  
井上河内守家臣和田市右衛門直舎の次男として江戸に生まれる。
- ☆1766年 旗本 早川宗家を継ぐ。
- ☆1769年 勘定奉行所勘定役に出世し、1781年まで在職。
- ☆1781年 代官に任命され、出羽国尾花沢・美作国久世・備中国笠岡・武蔵国久喜の代官を歴任し、善政を施した。

### 主な業績

- \*勘定奉行として在職の間、主に関東諸国の河川工事に功労が多く、1775年には幕府から報奨を賜っている。
- \*代官在任中は、管内農村を親しく巡回し、荒廃した状況の復興のため、儉約の奨励、赤子間引き禁止を説き、「久世条教」を出版して庶民の教育に努めた。また、地域産業の振興にも努め、代官として広く民衆に慕われた。

『詩人・社会評論家』

安積 得也 (あざみとくや)



### 主な経歴

- ☆1900～1994 (94歳没)  
東京で生まれる。
- 年少期を桜田村(現久喜市上川崎)で過ごす。
- ☆1923年東京帝国大学在学中に、文官口頭試験行政科試験に合格。
- ☆1924年東京帝国大学法学部卒業、内務省に入省する。その後、栃木県知事、内閣総合計画局局長、岡山県知事等を歴任。

### 主な業績

- \*社会評論家、詩人として多くの著書を残している。(一例)
- ・「底を叩く時」機械製作資料社 (1954年)
- ・詩集「一人のために」小峰書店 (1953年)
- ・「青年と人生・未見への出発」池田書店 (1954年)
- \*文才を活かし、母校である久喜市立桜田小学校をはじめ江面第二小学校、鷺宮中学校、菖蒲南中学校などの小中学校の校歌を作詞した。

『神道無念流宗家』戸賀崎 熊太郎暉芳 (とがさきくまろうてるよし)



### 主な経歴

- ☆1744～1809 (65歳没)  
上清久村(現久喜市清久)で生まれた江戸時代の剣術家。
- ☆16歳の時江戸四谷の神道無念流の祖、福井兵右衛門道場入門。
- 21歳で免許皆伝を許され、同流を継ぎ宗家となる。
- ☆1795年上清久村に帰り邸内に道場を開く。その後5代にわたり長い間宗家を受け継いだ。

### 主な業績

- \*江戸四谷の道場は経営難だったため、暉芳が上清久村に帰郷して道場を開いた。師を後見役として引き取り、死ぬまで面倒を見た。
- \*35歳の時、再び江戸に出て麹町に道場を開いた。
- \*1783年 大橋富吉という農民の「仇討ち」事件に係わり戸賀崎道場が脚光を浴びた。
- \*道場跡(埼玉県指定旧跡)に功績を称える碑が建てられている。

『埼玉梨の功労者』五十嵐 八五郎 (いがらしはちごろう)



### 主な経歴

- ☆1854～1927 (73歳没)  
三箇村(現久喜市菖蒲町三箇)で生まれる。
- ☆1871年 赴いた現前橋市で梨栽培に興味を持ち、栽培技術の研究に励む。
- ☆群馬県・千葉県で各1年、さらに現熊谷市で8年研修をする。
- ☆1880年現深谷市で梨栽培に専念、収益を挙げる。
- ☆1884年事業を独り占めすることなく、南埼玉郡下を回り、「長十郎」梨の栽培を普及させる。
- ☆1910年8月の台風・水害禍の中、梨だけはほぼ被害を免れ、評価を高め急速に梨栽培を普及させる。

### 主な業績

- \*水害にあっても被害が少なく、稲作と労力が競合しないうえ、不況の時にも比較的現金収入がある梨栽培を学び、地元の旧菖蒲町、旧久喜市地域で普及させた。
- \*「埼玉梨の元祖」と言われている。
- \*業績を称える記念碑(市指定有形文化財)がしみん農園久喜内に建てられている。

『日本の公園の父』本多 静六 (ほんだ せいりく)



### 主な経歴

- ☆1866～1952 (86歳没)  
河原井村(現久喜市菖蒲町河原井)の折原家に生まれる。
- 9歳の時父親が死去、祖父母の手で育てられた。
- ☆14歳で単身上京するが、農繁期の半年は実家の農業を手伝う。
- 17歳で東京山林学校(現東京大学農学部)に入学。
- ☆22歳で本多家の婿養子になる。
- ☆23歳単身ドイツへ自費留学。ドクトル・エコノミー(経済学博士)の学位を取得。帰国後は、東京帝国大学農科大学助教授となる。
- ☆32歳で日本最初の林学博士になり、翌年教授となる。
- ☆数多くの役職に就き、退官後もいろいろな公職で活躍。

### 主な業績

- \*林学博士として日本の「造林学」の基礎を築く。
- \*大正4年に「造園学」と命名した初めての講座を開設。幾多の専門家の育成に努めた。
- \*野辺地鉄道防雪林を青森県内に創設した。
- \*日本最初の大学演習林を千葉に創設した。
- \*1901年の日比谷公園の設計を最初に、35年間にわたって、全国各地の公園の設計に携わると共に、国立公園の創設にも尽力。公園、温泉地、景勝地の発展に貢献した。
- \*幸福の秘訣、成功の秘訣等人生を生き抜くための処世訓等の多くの著書がある。
- \*多額の資産のほとんどを公共のために寄附、「本多静六博士奨学金制度」はその一つ。